誌面の関係で、要旨部分のみを掲載しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。
ホームページアドレス　https://www.city.yoshinogawa.lg.jp/

成長する産業づくりの拡大

●コワーキング・シェアオフィス「Ki-Da」運営事業

市民プラザ1階南側の一角に、コワーキング・シェアオフィス「Ki-Da」（キーダ）を令和2年5月25日にオープンし、シェアオフィス利用第1号として、東京都港区に本社を置き、吉野川市出身者が代表取締役を務める化粧品製造販売会社「株式会社アリエス」から、10月に利用申請がありました。

シェアオフィスの常駐社員として市内在住者1名が新たに雇用され、11月12日から同社のサテライトオフィスとして、本格的に業務が開始されました。今後は、このサテライトオフィスを拠点に、同社と市内の事業者との交流が広がり、新たなビジネスチャンスに発展していくことを期待しています。

一方、東京で開催する予定であった企業誘致イベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために延期していましたが、12月2日にオンラインで開催することとしました。本市初の試みですが、このイベントを通じて、県外の企業の方々に興味を持っていただけるよう、取り組んでいきます。

安心・安全なまちづくりの拡大

●消防防災活動拠点整備事業

現在、山川町春日に建設中の「消防防災活動センター（仮称）」はすでに建物部分が完成し、外構工事の最終仕上げの段階となっており、令和2年内の完成を予定しています。

センターの完成後は、災害に備えた備蓄物資や防災資機材の保管、消防団の操法訓練などに利用するとともに、災害時には、支援物資の受け入れや、避難所などへ物資供給を行う地域内物資輸送拠点として活用します。

吉野川市防災備蓄センター

なお、施設の名称は、これまで仮称としていましたが、本市の防災物資の備蓄や物資輸送などの拠点となることから、名称を「吉野川市防災備蓄センター」と定め、「安心・安全なまちづくり」に資するよう適切に運用していきます。

議会だより

条例

◇吉野川市特別職で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例制定

厳しい財政状況に鑑み、令和3年1月から3月までの間、市長の給与月額の減額率を15％から25％にするとともに、副市長および教育長の給与月額をそれぞれ10％減額することについて、必要な事項を定めるものです。

予算

◇令和2年度吉野川市一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出予算それぞれ1億1231万6000円を追加し、総額を259億4820万6000円とするものです。

指定管理者の指定

市有施設の指定管理者に指定する団体および指定期間などを決定しました。各施設の指定管理者は次のとおりです。

▼鴨島老人福祉センター／㈱松島組／令和3年4月1日から5年間
▼田平農産物共同加工施設／美郷梅工房／令和3年4月1日から3年間
▼美郷農産物加工施設／山川町生活改善連絡協議会／令和3年4月1日から3年間
▼向麻山公園／向麻山を良くする会／令和3年4月1日から3年間
▼バンブーパーク／㈱山内組／令和3年4月1日から3年間
▼鴨島公民館／㈱松島組／令和3年4月1日から5年間
▼文化研修センター／特定非営利活動法人吉野川市文化協会／令和3年4月1日から5年間
▼高越弓道場／高越弓道会／令和3年4月1日から5年間

人事

◇教育委員会委員の任命について

前任者の任期満了に伴い新たに任命したいため、議会に対して同意を求めたものです。

貞野雅己（さだの・まさみ）氏＝63歳、山川町貞田

吉野川市の今後の財政見通し

本市の財政状況は、合併に伴う国からの財政支援策の終了などにより、今後厳しい状況が続くと想定されています。こうした中、市民の皆さんのニーズを的確に捉え、安心・安全な暮らしを提供し続けるためには、将来にわたる財政の見通しを踏まえた上で、持続可能な行財政運営に向けた改善策を見出すことが必要不可欠となります。このたび、現状の財政運営を今後も継続した場合の収支結果をまとめた「財政見通し」を作成しましたので、その概要についてお知らせします。

●歳入（収入）

歳入は、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計等により本市の人口が減少する見込みであることを踏まえ、市税、地方交付税等については、年々減少すると見込み、国・県支出金については、社会保障関係経費が増加傾向にあることから増加すると見込みました。各年度の財源不足を補うため、基金（預貯金）から所要額を取り崩し、補てんしなければならないと試算しています。

●歳出（支出）

歳出は、高齢化の影響などによる社会保障関係経費の増加を見込み、借入金の元利償還金については、これまでの借入額と今後の借入見込額を踏まえ約24億円前後で推移すると見込んでいます。投資的経費は、現時点において着手および実施を予定している事業（山瀬小学校屋内運動場整備、新ごみ処理施設整備など）および必要最小限の建設事業を見込み試算しています。

●歳入歳出差引額（収支）

歳入歳出差引額（収支）は、不足する財源を基金を取り崩すことにより、令和2年度から令和5年度までは約5億円前後の黒字で推移する見込みですが、令和6年度には基金が枯渇し、約14億円程度の赤字となる見込みです。

●基金残高

市の預貯金にあたる基金（財政調整基金、減債基金および地域振興基金）の残高は、各年度の財源不足を補うため、財政見通しのとおり取り崩した場合、令和6年度に枯渇する見通しです。

●市債残高

市の借金にあたる市債の残高は、財政見通しの試算の範囲内において投資的事業を行った場合、令和2年度をピークとして約240億円程度まで減少する見通しです。

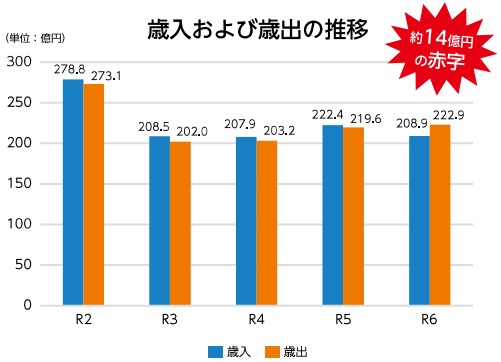
▼財政危機を突破するために

財政見通しの試算結果を踏まえ、吉野川市発足以来の未曾有の財政危機を打開するため、現在、「第4次行財政改革大綱・実施計画」の抜本的改定を進めています。

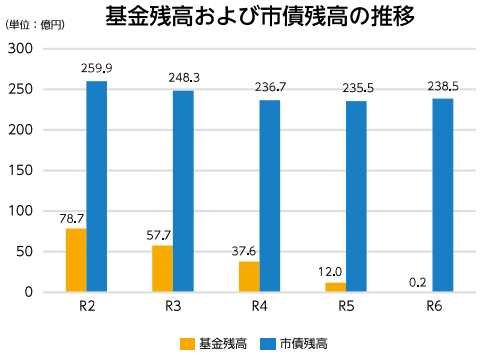
庁内の徹底した経費削減はもとより、事務事業の総点検を行い、歳入・歳出両面から財政構造の抜本的な転換を図るため、全ての事業を精査します。市民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

財政見通しはこちらからご覧いただけます。

二次元コード



※令和2年度の決算見込額は、新型コロナウイルス感染症対策事業として特別定額給付金事業（予算額41億円）などを追加したことにより、他の年度より突出して多額となっています。



●問い合わせ　財政課　☎22-2221　FAX22-2244